

令和4年度  
教育委員会活動の点検・評価報告書

令和5年3月

枕崎市教育委員会

# 目 次

## I はじめに

1	事務事業の点検・評価の概要	1
2	点検・評価の対象	2
3	実施フロー	2
4	外部評価委員会（学識経験者の知見の活用）	2
	枕崎市教育委員会外部評価委員会設置要綱	3

## II 事務事業の点検・評価の内容及び結果について

1	評価の観点	4
2	観点別評価	4
3	評価の結果	4 ～ 5

## III 外部評価委員の意見及び提言

6 ～ 8

## IV 参考資料

1	教育委員会の活動状況	9
(1)	会議の開催状況	
(2)	審議状況	
(3)	学校訪問等	
(4)	管理職研修会等	

## I はじめに

### 1 事務事業の点検・評価の概要

枕崎市教育委員会は、「明日の社会を担う心豊かでたくましい人づくり」を基本目標に掲げ、生涯学習の観点に立ち主体性・創造性・国際性を備え、心豊かでたくましく生きる市民の育成を目指して、教育・文化・スポーツの振興を図っています。

その推進に当たっては、本市の教育的伝統や風土を生かす中で、社会の変化に的確かつ柔軟に対応しながら学校・家庭・地域社会の連携と協力のもとに「生きる力」を備えた青少年の育成に努めています。また、市民一人一人が自己教育力を高めて個性と能力を発揮しながら生涯にわたって学習できるよう諸条件を整備し、生きがいを感じ個性を育む生涯学習社会づくりに努めています。

平成 19 年 6 月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され（平成 20 年 4 月 1 日施行）、各教育委員会は毎年、その教育行政事務の管理及び執行状況について、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが規定されました。

また、点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることが規定されています。

そこで、教育委員会では、令和 4 年度の事務事業に係る「教育委員会活動の点検・評価」を実施するに当たり、枕崎市教育委員会外部評価委員会を設置して、意見、提言等をいただき、それを参考にして枕崎市教育委員による評価を行い、議会へ報告書を提出し公表を行うものです。

#### ○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

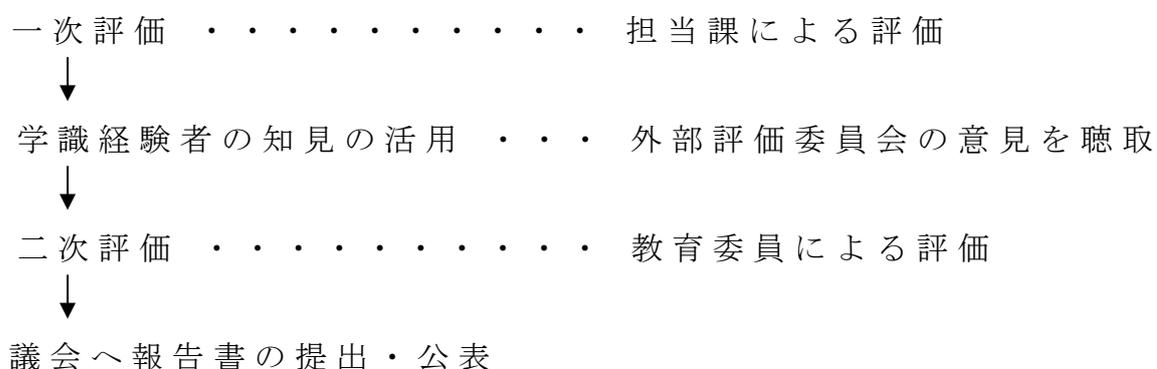
2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## 2 点検・評価の対象

点検・評価の対象は、次のとおり選定しました。

- 人間性豊かな人をつくる学校教育の推進
  - ・「学校施設整備事業」 (教育総務課)
  - ・「「輝け！夢・命」推進事業」 (学校教育課)
- 豊かな人間性を育む生涯学習の推進
  - ・「枕崎市・稚内市青少年交流派遣事業」 (生涯学習課)

## 3 実施フロー



## 4 外部評価委員会（学識経験者の知見の活用）

点検・評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する外部の方々の意見を聞く「外部評価委員会」を設置し、委員からの様々な意見、提言等をいただきました。

委員は次のとおりです。

氏 名	委 員 選 任 区 分
加 藤 寛 一	教 育 機 関 関 係 者
中 村 みほり	企 業 関 係 者
竹 中 秀 男	社会教育、社会体育及び芸術文化関係者
上 釜 い ほ	教育委員会が必要と認める者
谷 上 宗士郎	教育委員会が必要と認める者

## 枕崎市教育委員会外部評価委員会設置要綱

### (設置)

第1条 枕崎市教育委員会（以下「教育委員会」という。）の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検及び評価を行うため、枕崎市教育委員会外部評価委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

### (所掌事務)

第2条 委員会は、教育委員会が所管する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を行う。

### (組織)

第3条 委員会は、委員5人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから教育委員会が委嘱する。

- (1) 教育機関関係者のうち、知見を有する者
- (2) 企業関係者のうち、知見を有する者
- (3) 社会教育、社会体育及び芸術文化関係者のうち、知見を有する者
- (4) 前3号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める者

### (任期)

第4条 委員の任期は、1年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

### (委員長及び副委員長)

第5条 委員会に、委員長及び副委員長を置く。

2 委員長及び副委員長は、委員の互選により定める。

3 委員長は、委員会を代表し、会務を掌理する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

### (会議)

第6条 委員会の会議は、必要に応じて委員長が招集し、委員長が会議の議長となる。

2 委員会は、委員の半数以上の者が出席しなければ開くことができない。

### (守秘義務)

第7条 委員は、その職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。

### (庶務)

第8条 委員会の庶務は、教育総務課において処理する。

### (その他)

第9条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

### 附 則

この要綱は、平成21年6月3日から施行する。

この要綱は、令和3年4月1日から施行する。

## II 事務事業の点検・評価の内容及び結果について

### 1 評価の観点

事務事業の点検・評価は事業の妥当性、効率性、有効性の観点で行いました。

[観点別評価の考え方]

観 点	チェック項目
妥 当 性	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 市民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か</li><li>・ 市が関与しなければならないか</li></ul>
効 率 性	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 投入コスト(事業費・人件費)に見合った効果が得られたか</li><li>・ コストを下げる工夫をしたか</li></ul>
有 効 性	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 事務事業の活動量に見合った十分な成果が出ているか</li><li>・ 手段(実施方法)は有効か</li></ul>

### 2 観点別評価

事 業 名	妥当性	効率性	有効性
① 「学校施設整備事業」	妥当	妥当	妥当
② 「「輝け！夢・命」推進事業」	妥当	妥当	妥当
③ 「枕崎市・稚内市青少年交流派遣事業」	妥当	妥当	妥当

### 3 評価の結果

事 業 名	評価(まとめ、課題等)
全 体	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 各事業は市民ニーズに沿っており、事業の効率性及び有効性からも妥当なものとする。今後とも教育委員会及び外部評価委員会からの意見・提言等を参考にして、事務事業の改善・推進に努められたい。</li></ul>

<p>① 「学校施設整備事業」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本市の学校施設は老朽化が進んでおり、また、児童生徒が安心して学べる環境で学習ができるよう順次、進めていくべきものであることから、妥当である。</li> <li>・小・中学校と老朽化が進む中で学校施設整備事業は非常に重要な事であると考えます。</li> </ul> <p>近年、地震に対する報道も増えているので、児童の安全・安心の確保、地域住民の避難所としても活用していける様に進めてほしいと思います。</p>
<p>② 「「輝け！夢・命」推進事業」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の授業では学びが少ない心の教育は様々な観点から見ることがあり、このような授業はとても良いと思う。</li> <li>・コロナ禍の中で、子供たちは行動制限があり、人と人の繋がりがネットでの時代となっていく状況が増えているので、色々な人の考え方や生き方等を生の声で聴き、感じるということはとても大切な事であり、「夢・命」を輝かす事業であると思います。</li> </ul>
<p>③ 「枕崎市・稚内市青少年交流派遣事業」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次世代を担う青少年が交流活動を行うことと本市の事業として継続することができ、また、子供たちが非日常の体験をすることによる学びが期待できる。</li> <li>・北（稚内市）と南（枕崎市）が一本の線路で繋がり、そして、それが人と人を繋げていく事業、人と人から、食と食、そしてその場所まで行く道ほど気温や文化等、同じ日本での違いを知ることができるというのは「心豊かでたくましい青少年の育成」にはぴったりだと思います。</li> </ul>

Ⅲ 外部評価委員の意見及び提言

No.1

<p>施策 「事務事業名」 (担当課)</p>	<p>意見・提言の内容</p>	<p>事務局説明・対応等</p>
<p>人間性豊かな人をつくる学校教育の推進 「学校施設整備事業」 (教育総務課)</p>	<p>・ 学校施設の老朽化が進む中で、予算を確保し長寿命化計画での施設の整備事業は大変だと思いますが、大切なことであり、児童生徒さんが大事な学習、生活の場で気持ちよく過ごしていただくことを願います。 また、災害時の緊急避難場所としても役割を果たすよう整備されることを願います。</p> <p>・ 学校施設等の管理やメンテナンスは、計画的に優先的順位に基づいて実施されるものと理解しておりますので、学校の安心安全を守る意味でも引き続き整備をお願いします。</p> <p>・ 子供の数が減ったからといって、学校施設がいらなくなるわけではないので、維持管理が大変だと思うが、長期的に維持できるような対策をとっていただきたい。</p> <p>・ 現時点でバリアフリー化が完了している学校は何校あり、必要とする児童生徒が何名くらいいますか。 また、今後、就学予定者の中に何人位か把握できていれば教えてください。</p> <p>・ バリアフリー化により災害時のパニック状態の中、高齢者や障害者、妊婦さん等々が安全に避難することができるのでとても良い事業ですね。 補助事業費があれば尚、良かったですね。</p> <p>・ 学校の高木等の確認はしていますか。</p>	<p>・ 「枕崎市学校施設長寿命化計画」及び「個別施設計画」に基づき、国の補助事業等を最大限に活用しながら、計画的で効率的な事業を実施していきたいと思えます。 各小中学校は第2避難所となっており、バリアフリー化工事を行うことにより、避難者が利用をしやすくなると考えられます。</p> <p>・ 現時点で完了をしている学校はありませんが、段差の解消等でスロープ等は各小中学校設置しています。 また、児童生徒数については、把握できています。</p> <p>・ バリアフリー化については、補助事業を最大限に活用し行いたいと思えます。</p> <p>・ 確認を行っています。市内小中学校を令和3年度と4年度で高木等の伐採を行います。 また、全て今年度で終わりませんので、引き続き高木等の伐採を行うために予算要求を行っていきます。</p>
<p>人間性豊かな人をつくる学校教育の推進 「「輝け！夢・命」推進事業」 (学校教育課)</p>	<p>・ 長引くコロナ禍で、まだまだ行動や活動がままならない中、講演やパフォーマンスで皆と触れ合い、感動や様々な思いを感じることができたのではないのでしょうか。 『命』の大切さをしっかりと胸に刻んで『夢』に向かって元気に成長していただくことを願います。 事業に関しても、継続していただければと思います。</p> <p>・ 小中学生が対象である事業なので、目的にあるように「夢をもつこと」、「夢に向かって頑張ること」、自分の命を大切にすることを育むことを目的にすることは本当に価値あることだと思います。そのうえで、どのような企画で児童生徒に夢や気付きを与えられるかが大切になると思われしますので、何かのきっかけや刺激にしてもらえるように引き続き新たな企画等も期待しております。</p> <p>・ とても良い事業だと思います。私もJCとして枕高にて青春講演会で「今を生きる」をテーマに講演をさせて頂きましたことを思い出しました。 ぜひ、アンケート等あれば拝見したいです。</p> <p>・ 事業実績報告を拝見させていただきました。感想文やお手紙形式等の内容を見ると本当に良い事業だったことと思います。このような事業が今すぐではなくても、将来の子供たちの未来に必ずプラスになんと思えます。そして、またその将来、子供たちが大人になり子供ができてと、そうやって時代は流れていくので、ずっとずっと夢や命の大切さを伝えていく責任が我々にはあるのでしょうか。 次年度もその先も期待しています。</p> <p>・ 今、全国的にヤングケアラーという問題があるが、学校であったり教育委員会が把握はしているのですか。</p> <p>・ 来年度の 寄附をいただける方は、同じ方でしょうか。 また、「枕崎」を本当に好きだという心を育てていただきたいと思えます。</p>	<p>・ 子供たちの感想の中から子供たちの本当の気持ち、抱えているものが私たちが初めて分かりました。普段の生活の中ではこのような話を聞く機会がないことから、普段学校の先生たちがお話をするよりも、外部から来ていただくことは、貴重な体験であると考えております。講師からの感動するお話を聞くことにより今までの人になんか言えず悩んでいたことが感想文の中に吐露されることもあることから、講演会でのお話は子供たちに自分の思いを吐露するきっかけになっています。いつも向き合っている先生になんか相談できないという子供たちにとってみたら、このような機会というのはとても大切ものと考えております。 1年間振り返って、「夢をもつこと」や「命を大切にすること」への数値(データ)が事業実施前よりも高くなっていることから、事業を通して子供たちの意識が高まってきているものと考えております。 次年度は講演の内容は変えますが、根本にあるのは『命を大切にすること』ということ、『夢を持たせる』ということを柱にしながら『命』と『食育』について事業を実施してまいります。 そして、故郷『枕崎』が人口減少の中、どうやってこの地域に貢献できる子供たちになるのか、自分たちで何か『枕崎』のためにできることはないのか、ということについては講演を通して『あなたは講演を聴いて、地域のために何ができますか。』という問いに『自分はこうします』ということが言えるようになってほしいと考えております。 本年度の事業実施報告書(アンケート結果)の冊子は、みなさまにお渡しします。</p> <p>・ すべての子供たちの家庭環境・状況等について把握しております。 そのような子供がいた場合、大人への相談することを伝えたり、その保護者・家庭へ支援をできないか福祉と連携し対応しています。</p> <p>・ 同じ方になります。今年度、全部の会場に来ていただいて、冊子もお届けして、『来年もさせていただきます』ということで、やはり、『子供たちが喜んでる姿を見ると、私も嬉しかったです。』ということでした。 我々も「枕崎」を本当に好きだという心をグラフが上がっていくように、数字となって表れるように取り組んでいきたいと思えます。</p>

Ⅲ 外部評価委員の意見及び提言

No.2

施策 「事務事業名」 (担当課)	意見・提言の内容	事務局説明・対応等
人間性豊かな人をつくる学校教育の推進 「輝け！夢・命」推進事業 (学校教育課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本物の音楽とか、劇とかそういうものを見させてあげたらなと思います。そういう幼い頃に見たのが職業になっていくという人が多いので、是非、本物のもの、芸術みたいなのを見せられたらいいのではないかと思います。</li> <li>・ 地方にいと貴重な経験・体験に恵まれないので、子供たちに心に残る事業を進めてもらいたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子供たちにとって、本物の音楽や劇を見る機会を作ることは、とても大切なことだと考えています。</li> <li>・ 次年度も子供たちの心に残る事業が実施できるよう進めたいと思います。</li> </ul>
豊かな人間性を育む生涯学習の推進 「枕崎市・稚内市青少年交流派遣事業」 (生涯学習課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 先ずは、この交流事業が実施できたこと、携わった方々に感謝し、何よりだったと思います。参加者は交流活動で貴重な体験、様々な学びで成長されたことと思います。事後研修もきちんと体験報告書作成、提出までなされ、成果を上げることができたのではないのでしょうか。</li> <li>・ 両市の学校間交流へ発展していくことを願います。</li> <li>・ また、稚内で本当に色々な体験を皆さんさせていただいたので、稚内の方が枕崎で色々なことを体験して良かったと思っていただけるような、枕崎の皆さんも一緒に成長できるような交流が、次年度でできればいいのかなと思います。</li> <li>・ 本校生徒も3名参加させて頂きました。大変、お世話になりました。学校内では、クラス内で報告した形で全校生徒への報告会等は実施できませんでしたが、3月に市生涯学習フェスティバルで体験活動等の発表を行うことになっていると伺っているので、生徒たちには大変、有意義な経験をさせて頂き、本当にありがたいと感じております。更に回を重ねる度に、中身の充実を図っていければと感じます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 稚内の方へ訪問した時には、かなりおもてなしがすごく、子供たちも喜んでいただようございました。今度は稚内市が訪問するというところで、10月の市民訪問団の中には稚内市教育委員会の方と二つの高校の先生も訪問して、来年度の事業の打合せもしております。その中で、『きばらん海』の時に是非、枕崎市の方を訪問したいということになりました。『きばらん海』の体験とか、稚内の方が希望するものがあれば教えてくださいということで、かつお節加工場なども見学したいというような話がありましたけれども、そういったものを取り入れながら来年度、温かく迎え入れるようにしたいと考えております。</li> <li>・ 周年行事となっていますが、新しい交流体験など取り入れることで本来の意義が薄れることのないように、稚内市とも計画して内容の充実を図っていきたい。まずは、来年度の稚内市青少年の受け入れについて、注力していきたい。</li> </ul>
豊かな人間性を育む生涯学習の推進 「枕崎市・稚内市青少年交流派遣事業」 (生涯学習課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 稚内から来られる人数は、こちらから行った人数ぐらいですか。</li> <li>・ 稚内の方々をかつおアドベンチャーと一緒に連れていけばどうでしょうか。</li> <li>・ 派遣の14名の他には、何名ぐらいの応募があったのですか。 今後より多くの子供たちを派遣できたら良いのではないかと思います。</li> <li>・ 若い時の経験というのが、その人の人生を決めるといふのがありますので、稚内の方が枕崎に来るような、誰かと結婚するようなことがあれば、そこまで発展するようにしてもらえればと思います。</li> <li>・ 代表して派遣された14名が他の生徒に対して、どこまで感じた事をアウトプットできるかですね。 ただ、楽しかったでは無く、その先のゴール(発展)が楽しみです。</li> <li>・ 北の地と南の地の交流、人的交流もですが、物の交流もぜひ、活発にやってほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本市からは生徒14名プラス引率が2名の16名ということでしたけれども、稚内市からは20名ぐらいを予定しているということでした。大学の方もありまして、そちらにも声掛けをしてみようかなという話を聞いております。</li> <li>・ 時期が合えばいいんですけども、難しいと思います。</li> <li>・ 募集は全校生徒に周知していますが、募集段階で各学校には生徒数に応じた参加者人数の目安を示しました。その中で、応募が多数の場合は学校が選考し、校内選考が困難な場合は、教育委員会で選考することとしていました。学校によって応募人数の多寡はありますが、全体募集枠14人の中で調整でき、希望者全員が派遣できたこととなっています。</li> <li>・ 充実した青少年の交流派遣事業としていきたい。</li> <li>・ 派遣生徒には市からの補助金を交付していますので、3月12日に開催する「生涯学習フェスティバル」の場で、活動・体験発表の時間を設定し、学びの成果を市民に還元するようにしています。来年度は稚内市からの受け入れを行い、その後、学校間交流などに発展していけたらと願っています。</li> <li>・ 以前、鹿児島水産高校と稚内高校共同による「コンカツお好み焼き」と「かつおのぼくだんコロッケ」を新商品開発し販売した経緯があり、他に「コンカツラーメン」なども開発しています。 また、イベントの際は特産品販売も継続していますが、関係機関と更なる連携を図っていききたい。</li> </ul>
枕崎教育委員会自己点検・評価シートについて (教育委員会全課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 点検・評価の『B』評価になっているところは、コロナ禍でどうしても事業ができなかったりとかそういう要因で、これからコロナ禍が落ち着いていくな中で、少しずつ改善、『A』に近づくように努めていただければと思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ご指摘のとおり、『A』に近づくよう取り組んでまいりたいと思います。</li> </ul>
その他 (教育委員会全般に関すること)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「教育委員会だより」や広報誌の「枕崎の特色のある教育」の掲載は市民に教育委員会事業の情報を届ける良い取組みだと思います。学校や各課と連携した取組みを今後も推進していただきたい。 改善点は検討を重ねて、教育環境の整備を進めていただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育委員会だよりについては、引き続き、本市の特色ある教育活動について掲載してまいります。 また、よりよい教育活動の推進のため、関係部局や地域、関係機関との連携も積極的に図ってまいります。</li> </ul>

Ⅲ 外部評価委員の意見及び提言

No.3

<p>施策 「事務事業名」 (担当課)</p>	<p>意見・提言の内容</p>	<p>事務局説明・対応等</p>
<p>その他 (教育委員会全般 に関すること)</p>	<p>・各課の事業全てにおいて素晴らしいと思っておりますので、継続して予算獲得を希望します。</p> <p>・学校教育課学校教育係様に関しましては、引き続き、命の大切さを伝える事業を行っていただきたいと思っております。</p>	<p>・引き続き予算要求をしていきたいと思えます。</p> <p>・次年度も引き続き、命の教育「食べることは生きること」や故郷教育「地域に貢献できる子供の育成」の推進をまいります。御協力よろしくお願いいたします。</p>

## VI 参考資料

### 1 教育委員会の活動状況（令和4年度）

#### (1) 会議の開催状況（令和5年3月31日現在）

定例会	12回
臨時会	4回

#### (2) 審議状況（令和5年3月31日現在）

① 付議案件数	41件
（内訳） 議案	37件
その他案件	4件

#### ② 会議に付された主な案件

- ア 各種委員の委嘱・任命を行うこと。
- イ 教育予算の見積を決定すること。
- ウ 奨学生を決定すること。
- エ 枕崎市就学援助費支給の認定をすること。
- オ 教育委員会規則・要綱の制定又は改廃を行うこと。
- カ 枕崎市教育行政の重点施策を定めること。
- キ 教育財産の用途廃止を承認すること。
- ク 学校備品の廃棄を承認すること。
- ク 優良社会教育関係団体及び個人功労者、青少年健全育成功労団体及び個人功労者の表彰に同意すること。

#### (3) 学校訪問

##### ○ 学校訪問

授業の参観、学校経営状況に係る説明・質疑等を行う機会として、「学校訪問（うち2校は教育事務所との合同訪問）」を実施した。

1学期 8校（5月：4校・6月：2校・7月：2校）

#### (4) 管理職研修会等

- ① 校長研修会 11回
- ② 教頭研修会 5回
- ③ 管理職自主学習会「黒潮会」 3回